

様式4: 地区連絡会議報告書

○「農地管理料と農地利用状況を意見交換」

(京都府宮津市 栗田地区連絡会議)(平成31年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年5月30日(木) 19:00~21:00
- 場 所: 宮津市栗田集会所
- 出席者: 農業委員2人、推進委員1人
協力員11人、事務局1人
※委員3人、委員以外12人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 担い手は、認定農業者が2人いるが、それ以外がいない
- 農地の状況は、優良農地が遊休化している状況のなか、中津地区は農家組合が維持管理。小田宿野地区は、借地の場合は地主から管理料を徴収して農事組合法人が管理している

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農地管理料の状況について意見交換
小田宿野地区のみ、営農組合が受託管理する場合に管理料10,000円。他地区はなし
- 農地利用の状況について
 - ・新宮地区・・・5年後の担い手が不明。他地区からを検討
 - ・獅子地区・・・非農家の出役なし
 - ・中津地区・・・乾燥機の共同組織あり。非農家の出役なし。高齢化と若い人の勤めで会議が難しい
 - ・小田宿野地区・・・非農家の出役なし。畑地の再生利用が課題
 - ・田井地区・・・非農家も多面参加
 - ・矢原地区・・・直接支払で施設等管理。5年後の予測つかない
 - ・脇の浜地区・・・地域組織による農業継続が課題



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援